



TOKYO INTERNATIONAL FORUM
東京国際フォーラム

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

TEL.03-5221-9000 (代)

<http://www.t-i-forum.co.jp/>

東京国際フォーラム

ANNUAL REPORT 2015

TOKYO INTERNATIONAL FORUM



代表取締役社長 上條 清文

社長挨拶

弊社は、都が所有する東京国際フォーラムを管理運営する会社として、2003年4月に設立されました。当施設は年間約2,300万人の方が訪れるなど、多くの方々にご利用いただける都心型MICE施設に成長し、国内外から評価をいただいております。これもひとえに、お客様や関係する皆様方のご支援、お力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。

2015年度は、東京都と協力して行っている大規模修繕工事の影響で、展示ホール（平成28年4月よりホールEに名称変更）が長期間ご利用いただけないなど、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。こうした中でも、『第9回UIC世界高速鉄道会議』をはじめ学会、企業のコンベンション・式典、さらには、コンサートやミュージカルといった様々な催事が数多く開催されました。また、弊社の主催事業では、ゴールデンウィークの風物詩となった「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭」や子供と家族のための体験型イベント「丸の内キッズジャンボリー」をはじめ、東京の食材や料理などを国内外へ発信するイベント「東京味わいフェスタ」や「TOKYO FANTASHION」の内容を充実するなど、地域や関係機関との連携を充分に取りながら積極的に展開いたしました。さらに、デジタルサイネージを館内7箇所に一斉に配置したほか、館内の案内サインをわかりやすく刷新し、MICE施設としての機能も強化しました。

東京国際フォーラムは、2017年1月に開館20周年を迎えます。さらなる20年に向けて歩みを止めることなく、世界をリードする都心型MICE施設としての機能を遺憾なく発揮しなければなりません。4年後には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。東京国際フォーラムは、ウエイトリフティングに加えて、パワーリフティングの競技会場としてIPC理事会で承認されました。競技大会の成功はもとより、気運の醸成や文化プログラムの推進など、当社の文化・賑わい拠点としての魅力を世界に発信することもたいへん重要です。

今後とも、経営理念である“感動創造企業”を羅針盤として、「第5次中期経営計画」を着実に実行し、お客様のサービス向上や主催事業を通じた地域・都民への貢献を推し進めてまいります。また、大規模な集客施設を管理運営する立場として徹底した安全・安心の確保にも努めてまいります。引き続き、ご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

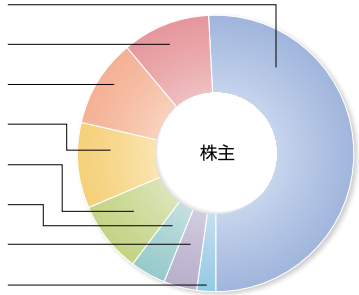
名称：株式会社東京国際フォーラム(英文名称:Tokyo International Forum Co., Ltd.)
所在地：東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
設立年月日：2003年4月4日(ただし、本格稼働は財団法人東京国際交流財団から事業譲渡を受けた7月1日から)
主要事業：1. 東京国際フォーラムのホール、会議室等の管理運営
2. 東京国際フォーラムのサービス施設の管理運営
3. 国際交流促進等のための催事の企画、制作、実施及びその受託
4. その他上記に付帯する一切の業務
代表者：代表取締役社長 上條 清文
資本金：4億9000万円

株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数
9,800株
2. 発行済株式総数
9,800株
3. 株主数
8名

4. 株主

東京都	5,000株	51.0%
東日本旅客鉄道株式会社	1,000株	10.2%
三菱地所株式会社	1,000株	10.2%
サントリーホールディングス株式会社	1,000株	10.2%
株式会社電通	800株	8.2%
東京電力ホールディングス株式会社	400株	4.1%
東日本電信電話株式会社	400株	4.1%
東京ガス株式会社	200株	2.0%



経営理念

東京国際フォーラム (Tokyo International Forum)はリーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力を世界に向けて発信する感動創造企業である。

経営指針

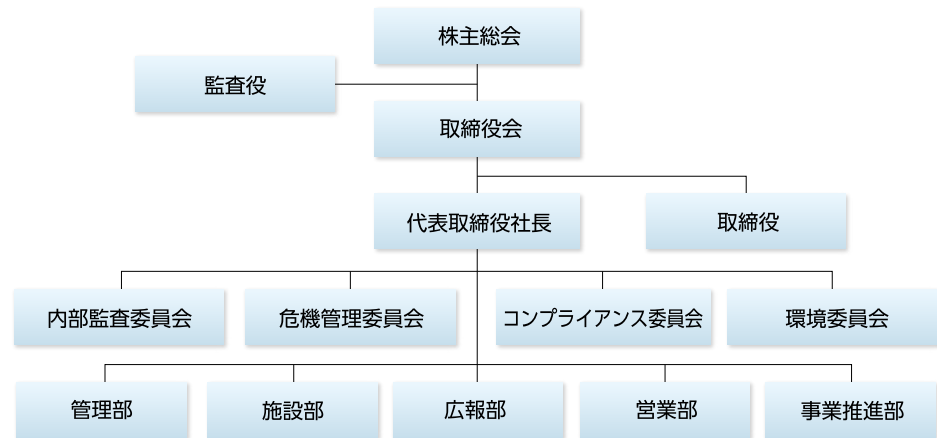
- TIFは、最高の品質とサービスを提供する、リーディング・コンベンション&アートセンターである。
- TIFは、東京と日本の「いま」がわかる、コンベンション&アートセンターのオンリー・ワンブランドを目指す。
- TIFは、競争と協調の精神で、東京の顔である「大手町・丸の内・有楽町地区」の魅力あるまちづくりの核として、地域社会に貢献していく。
- TIFは、東京の魅力、まちの賑わい、人々の感動に満ちた、情報発信の拠点である。
- TIFは、自らの感性を高め、お客様の気持ちを敏感にとらえ、喜びと満足をお客様と分かち合う。
- TIFは、透明性が高く、効率的で高収益、高付加価値を創造する経営を目指す。

経営陣

代表取締役社長 上條 清文 常務取締役 西海 哲洋 取締役 上垣 智則 監査役 松宮 庸介 監査役 若生 直也

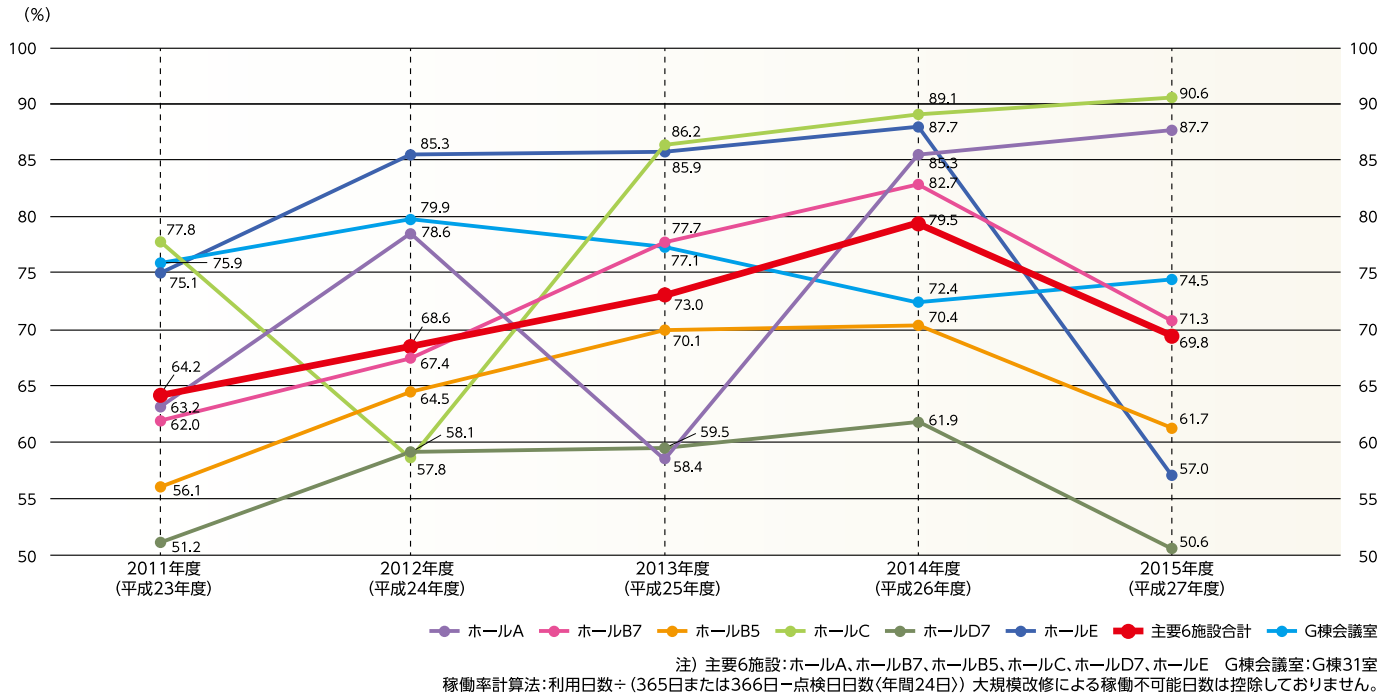
組織概略図

常勤従業員数：61人

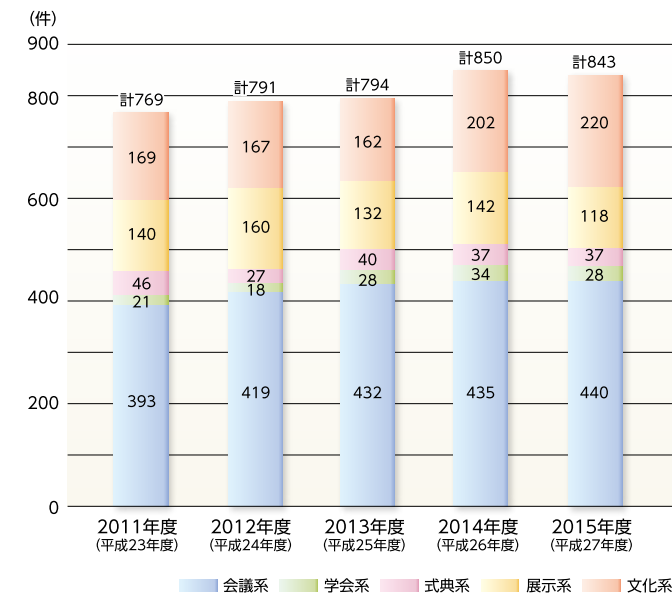


東京国際フォーラム 施設稼働状況

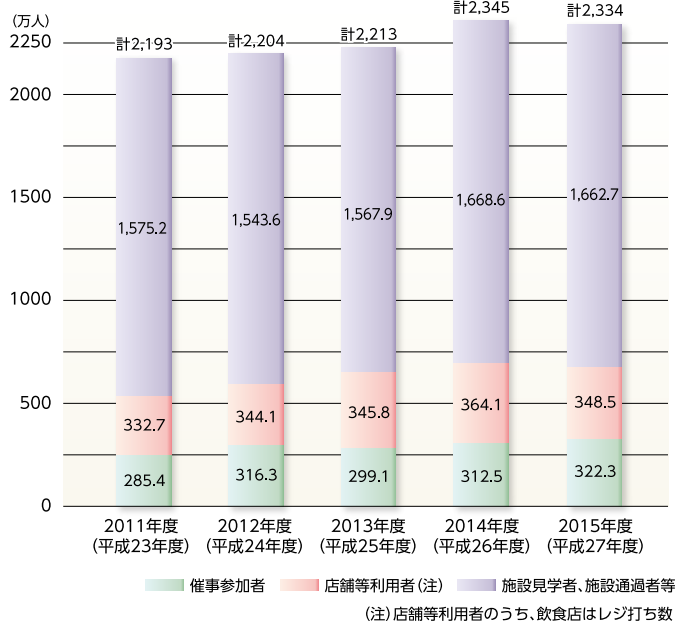
施設稼働率の推移



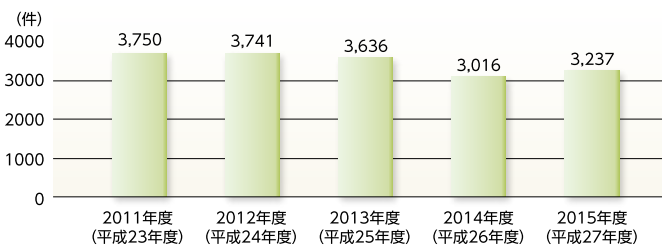
主要ホール等利用 種別催事件数の推移



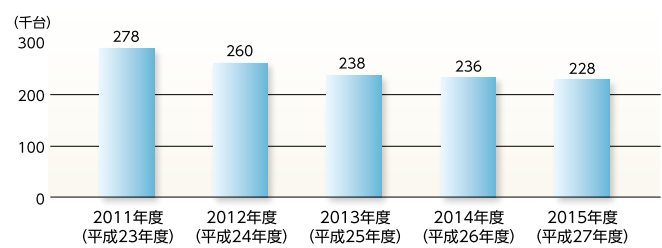
来館者延人数(推計値)の推移



会議室等単独利用 催事件数の推移



駐車場利用台数の推移



2015年度に開催された主な催事

区分	催事名	会期	会場
会議系	富士通フォーラム2015	2015年 5月12日～15日	全館(A 除く)
	ケーブルコンベンション2015	2015年 6月10日～11日	B5,D7,D5,会
学会系	第55回日本呼吸器学会学術講演会	2015年 4月17日～19日	全館(A 除く)
	第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	2015年 5月20日～23日	B7,B5,C,D7,E,LG,会
	第50回日本理療学会学術大会	2015年 6月 5日～ 7日	全館
	第30回JSCRS学術総会	2015年 6月19日～21日	B7,B5,C,E,会
	第33回日本顎咬合学会学術大会・総会	2015年 6月27日～28日	全館(A 除く)
	第23回日本乳癌学会学術総会	2015年 7月 2日～ 4日	全館(A 除く)
	第43回日本救急医学会総会・学術集会	2015年10月21日～23日	全館(A 除く)
	第56回日本視能矯正学会	2015年11月 7日～ 8日	A
	第25回臨床内分泌代謝 Update	2015年11月27日～28日	B7,B5,C,会
	第54回日本網膜硝子体学会総会・第32回日本眼循環学会合同学会	2015年12月 4日～ 6日	B7,B5,C,会
	第50回糖尿病学の進歩	2016年 2月19日～20日	全館(A 除く)
式典系	2015 日本国際賞授賞式	2015年 4月23日	C
	トッパンフォームズグループ 創立50周年記念式典	2015年 5月29日	B7
	プルデンシャル・スピリット・オブ・コミュニティ 第19回ボランティアスピリット賞 全国表彰式&フォーラム	2015年12月23日	B7
	第20回ふるさとイベント大賞表彰式・平成27年度地方創生フォーラム	2016年 3月 2日	B5
展示系	ケーブル技術ショー2015	2015年 6月10日～11日	E
	ヒューマンキャピタル 2015／ラーニングテクノロジー 2015	2015年 7月15日～17日	E,会
	2015“よい仕事おこし”フェア	2015年 9月 8日～ 9日	E,LG,会
	チャレスボITOKYO	2015年 9月20日	E
	FIT2015(金融国際情報技術展)	2015年10月15日～16日	E,会
	日立ソーシャルイノベーションフォーラム2015東京	2015年10月29日～30日	A,B7,B5,E,LG,会
	Canon EXPO 2015 Tokyo	2015年11月 4日～ 6日	全館
	NEC C&Cユーザーフォーラム&iEXPO 2015	2015年11月12日～13日	A,B7,B5,E,LG,会
	SUPER BOX 2015	2015年11月17日～20日	B5,D7,D5,E,会
	アドテック東京2015	2015年12月 1日～ 2日	B7,B5,E,LG,会
文化系	BROADWAY DANCE CENTER 30周年記念SHOWCASE「GET DIVERSE -多様化せよ-」	2015年 5月29日～30日	C
	戦後70年史を歌うプレミアステージ 五木ひろし メモリアルコンサート	2015年 6月 3日	A
	青山メインランドファンタジースペシャル ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」	2015年 7月20日～30日	C
	ミュージカル「グッバイ・ガール」	2015年 8月 7日～23日	C
	松本隆 作詞活動45周年記念オフィシャル・プロジェクト 風街レジェンド2015	2015年 8月21日～22日	A
	第14回東京JAZZ	2015年 9月 5日～ 6日	A
	Umeda Arts Theater 10th Anniversary 「SUPER GIFT!From Takarazuka stars」	2015年 9月12日～27日	C
	レット・イット・ビー	2015年11月18日～22日	C
	宝塚歌劇 星組公演「LOVE&DREAM」	2016年 1月 6日～17日	C
	シオノギ MUSIC FAIR 2600回記念コンサート	2016年 2月19日	A
	ミュージカル「ジキル&ハイド」	2016年 3月 5日～20日	C

A：ホールA、B7：ホールB7、B5：ホールB5、C：ホールC、D7：ホールD7、D5：ホールD5、D1：ホールD1、E：ホールE、会：会議室、LG：ロビーギャラリー、GL：ラウンジ、地：地上広場

主催事業

東京国際フォーラムは、魅力あるまちづくりの核として、また、文化の創造と発信の拠点として、地域や社会、都民への貢献に資する主催事業を積極的に展開しています。

■ ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2015



フランスで生まれた画期的な音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」を、東京国際フォーラムは、2005年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭(以下LFJ)として日本で初めて開催しました。初年度にして総来場者数32万人を記録し、以来、日本最大級のクラシック音楽祭として成長させ、今や東京のゴールデンウィークの風物詩として定着しています。

第11回目となる2015年は、テーマ設定を大きく変え、さらに多彩なプログラムで、よりエキサイティングな音楽祭へと進化。新たな皮切りとなる今回のテーマは「PASSION(パシオン)恋と祈りといのちの音楽」。

<パシオン>とは、魂の奥底から流れ出る強い感情のこと。ルネッサンス期から現代まで、音楽の長い歴史の中で、作曲家たちは、人間の生の営みや魂、感情といった言葉では言い表せぬものをどのように音楽化してきたのか。人間の文化を貫く普遍的な感性である<パシオン>、その広大な音楽世界を次の3つの切り口から展開しました。

祈りのパシオン	パロックから現代までの受難曲など祈りを音楽に昇華した曲
恋のパシオン	ルネサンスからロマン派、20世紀に至る恋にまつわる曲
いのちのパシオン	魂の歓喜や生きる情熱、あふれる想いから生まれた曲

テーマ：PASSION(パシオン)恋と祈りといのちの音楽
会期：2015年5月2日(土)～5月4日(月・祝)
※前夜祭スペシャルイベント 5月1日(金)
会場：東京国際フォーラム全館、よみうりホール、及び大手町・丸の内・有楽町エリア

来場者数：約42万7千人(延べ人数)
出演者総数：2,344人(うち有料公演 海外518人、国内471人 計989人)
総公演回数：395公演(回)(うち有料公演135公演)
チケット販売数：122,375枚

TOPICS

1. 生まれ変わったラ・フォル・ジュルネテーマ設定を一新

LFJはこれまで作曲家や時代、地域などクラシック音楽の文脈に沿ったテーマで開催してきましたが、2015年から人間の文化を貫く普遍的な概念やキーワードをテーマとすることに一新。そうすることによって、特定の作曲家や時代を越えてさまざまな作品を紹介することが可能となり、これまで以上に発見と驚きに満ちた音楽の冒険が可能になりました。その最初となった2015年のテーマが「PASSIONS(パシオン)」です。



2. 若い世代を応援 未来の音楽シーンを支える若い世代を応援する様々な取り組みを実施しました。

① U-25 割引

25歳以下の方を対象に公演当日に残席のある全ての公演チケットを半額で販売。低価格で楽しめる公演を更にお求め易い価格で提供し、若い世代の生のクラシック音楽体験を後押ししました。

② こどもたちの音楽アトリエ

毎年好評の子ども向け無料プログラム「キッズプログラム」が、今回「こどもたちの音楽アトリエ」に衣替え。有料公演に出演するアーティストたちが子どもたちのための特別プログラムを用意するなど、内容も更に充実させました。



③ “目と耳と身体で音楽を感じる”コンサート

パフォーマーやダンサーが登場し、会場の聴衆と一緒に身体を動かすなど、小さな子どもたちも無理なく45分間の公演を楽しめるようにプログラム内容を更に進化させました。



④ “ラ・フォル・ジュルネ学校に行く”

千代田区立の小学校2校に訪問し、パッハ・コレギウム・ジャパンの選抜メンバーによるワークショップを実施しました。(4月13日)



⑤ 公開リハーサル

シンフォニア・ヴァルソヴィア(ロベルト・トレヴィーノ指揮)のリハーサルに、千代田区と中央区の小中学生が、約580名参加しました。(5月2日ホールA)



⑥ マスタークラス

有料公演に出演するアーティストたちが若手演奏家を直接指導する公開レッスン「マスタークラス」。アーティストたちの人柄や作品に対する情熱を垣間見ることができる人気のプログラム。



3. 「みんなでハレルヤ」

LFJの幕開けをみんなで祝う一夜限りの参加型イベント「みんなで〇〇」。2013年から始まったこのイベント、2015年は「みんなでハレルヤ」。前年を上回る約1,500名の一般音楽愛好者などが集まり、みんなでハレルヤ・コーラスを歌い奏で、音楽祭の幕開けを祝いました。



■ 丸の内キッズジャンボリー2015〈セレクション開催〉

子どもたちへ、未来の夢を育む感動・発見・驚きを届けたいーそうした想いから、2007年、東京国際フォーラムの開館10周年記念事業としてスタートした参加・体験型イベント。9回目の開催となった2015年は展示ホール改修工事のため、規模を縮小したセレクション開催となりましたが、会場内は例年に負けない熱気につつまれ、多くの方にご来場いただきました。

プログラムは、「TIFワンダーキャンパス」、「ワンダークラブ」、「わくわくブース・スポーツ広場」、「にぎわいステージ」、「キッズタウン」などのカテゴリーで構成し展開しました。

東京国際フォーラム(TIF)によるオリジナルプログラム、学校では学べないことが学べるどこにもない“学校”「TIFワンダーキャンパス」で“とび”をテーマに最先端の研究をする先生たちによる特別講義を開催。企業や団体



によるセミナーやワークショップ、情報発信のほか、「スポーツ広場」では体力測定コーナーやトップアスリートの世界記録などの展示、「にぎわいステージ」では音楽やダンスなどのパフォーマンス、「キッズタウン」では消火放水体験や乗馬体験、キッズカート乗車体験など。他にも、さまざまな企画を用意し、全101種類のアイテムを実施しました。

連日の暑さにもかかわらず、東京国際フォーラムに元気いっぱいの子どもの笑顔と歓声が溢れた3日間でした。

会期：2015年8月12日(水)～8月14日(金)
会場：ホールD5・D1、ガラス棟会議室、ロビーギャラリー、地上広場
来場者数：約9万4千人(延べ人数)
企画アイテム数：101アイテム
実施プログラム数：369回(延べ回数)
協力団体・企業数：79



■ TOKYO FANTASHION

東京の優れたファッションブランドを積極的にアピールし、東京発のクールジャパンを発信すると共に、若手ファッションデザイナー育成・支援を目的として、CREATORS TOKYOによる一般消費者向けファッションイベント「TOKYO FANTASHION」を、8月と3月に開催しました。

8月は、ガラス棟の巨大空間を活用したファッションインスタレーションや、展示・販売会を実施。3月には、Dブロック1階の光床を効果的に利用したファッションショーや、ホールD1での展示・販売会を行いました。東京発、世界に向けた最新ファッションコレクションに、会場は若々しい熱気に包まれました。

主 催：東京都、東京国際フォーラム、TOKYO FANTASHION実行委員会
会 期：2015年8月16日(日)、2016年3月20日(日)
会 場：8月：ガラス棟ロビー・ギャラリー、G棟会議室
3月：ホールD1ロビー、ホールD1
参加ブランド数：8月：19ブランド 3月：11ブランド
来 場 者 数：8月：約1,400人 3月：約600人
(延 べ 人 数)



■ 東京味わいフェスタ

東京味わいフェスタとは、東京産の農林水産物を用いた料理や、時代を超えて受け継がれてきた伝統文化など、東京の多彩な魅力を国内外に発信するイベントで、2014年に初開催。2015年は前回実施した「丸の内エリア」に「有楽町エリア」「日比谷エリア」が追加され、スケールアップして実施されました。

「有楽町エリア」の会場となる東京国際フォーラムでは「バラエティ・オブ・ニッポン」と称し、日本各地や世界各国とのつながりを感じていただける6つのゾーンを地上広場に展開。日本各地の物産展、世界の料理やお酒を楽しめる屋台、東京多摩地域のB級グルメ紹介、気鋭のDJが登場する特設ステージなど多様な“味わい”をお楽しみいただける内容で、多くのお客様にご来場いただきました。



会 期：2015年10月9日(金)～10月11日(日)
主 催：東京都、東京味わいフェスタ実行委員会
(※東京国際フォーラムは実行委員会のメンバーとして参画)
来場者数：約75,000人 ※丸の内エリア、有楽町エリア、日比谷エリアの合計
(延べ人数)

■ 東日本大震災風化防止イベント 東京から元気を届けよう!復興応援2016

東日本大震災5年目の節目に震災記憶の風化防止を目的として、都民の方々に向けて、「復興は未だ道半ばである現状」等を伝え、支援の継続を呼びかけていくイベント「東京から元気を届けよう!復興応援2016」を東京都と当社が主催者となって開催しました。ホールB5のステージイベントでは、語り部による講話、演舞、支援の呼びかけなどが行われ、参加者は真剣な表情で聴き入っていました。ステージの最後には福島東高等学校による合唱が披露されました。ホールB5のロビーでは、都民からの応援メッセージや漫画家の応援色紙などが展示されました。また、地上広場では、東北3県の物産販売ブースなどが展開されました。



会 期：2016年1月29日(金)～30日(土)
主 催：東京都、(株)東京国際フォーラム
来場者数：約263人(ホールB5 ステージイベントのみ)

東京国際フォーラムは、地域の賑わいを創出する活動に協力しています。

■ 東京ミチテラス2015



東京・丸の内から「未来を明るく照らしていこう」という願いを込めた光のイベント。東京駅とその周辺が照明で演出されました。また、2015年話題となった有名人や、このエリアに馴染み深い人物をモチーフとしたオブジェ「ライティング・ベンチ・アート」も登場。東京国際フォーラムには徳川家康のオブジェが設置され、一緒に記念撮影する方が数多く見られました。

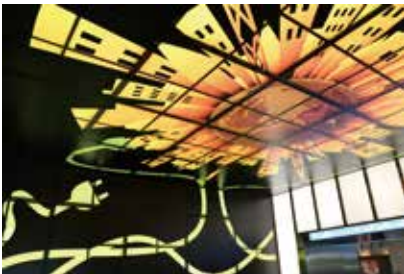
会 期：2015年12月1日(火)～12月27日(日)

2016 KOBE MEMORIAL
■ 1.17灯りのつどい

阪神・淡路大震災で犠牲になられた方々の冥福を祈り、日頃の防災・減災について、気づく機会とすることを目的としたイベント。東京国際フォーラムで2003年より開催されています。

会 期：2016年1月16日(土)

■ ライティング・オブジェ2015



「地球環境保護と子どもたちの平和な未来」と「震災復興支援の継続」をコンセプトに、各界で活躍中のアーティストによる光の作品が丸の内の4会場で展示されました。東京国際フォーラム

では石井竜也氏作のオブジェを展示。また、東京国際フォーラムの光壁をキャンバスとし、学生対象のデザインコンテスト「未来の輝きAward」も実施。グランプリに選ばれた作品が、地下1階の有楽町線側入口の光壁に大きく展示されました。



会 期：2015年12月17日(木)～12月27日(日)

施設の大規模改修工事等

東京国際フォーラムは、施設及び設備をリノベーションするため2009年度から10カ年計画で大規模改修工事を実施しております。2015年度はその7年目にあたります。

この改修工事は、単に当館を竣工当時の状態に復元するためだけでなく、お客様のご要望に十分お応えできるように機能を

向上させ、より安全・安心で、環境問題にも配慮した施設となることを目的としています。また、この10カ年計画による大規模改修工事のほかにも、お客様の利便性を高め、更なる安全・安心を実現するため、適宜、改修・修繕工事等を行っています。

2015年度の主な工事をご紹介します。



館内サインの改修

ご来館のお客様にわかりやすく質の高い施設づくりを目指し、ピクトサインの統一、日英中韓の4カ国語表示、内照式サインのLED化など、館内サインを見直し改修しました。また、ブロックごとのサイン表示色にはより鮮明な色を採用し、視認性を向上させました。

ホールE(旧 展示ホール)の改修

通算約4ヵ月半休館し、天井内空調機30台の更新、天井パネルの落下防止措置の強化、天井ダウンライトのLED化、床・柱等の塗装塗替えなどの改修工事を実施いたしました。施設・設備をリフレッシュしただけでなく、省エネルギー化、更なる安全性の向上を図りました。



大型催事情報表示板の更新

ホールEロビー上部に設置されている大型催事情報表示板は、当日館内で開催されるイベントの情報(催事名、施設名、開催時間)等を大きく表示しています。この表示板をLEDディスプレイから液晶ディスプレイへ変更し、これまで以上に明るくかつ見やすくしました。また、動画・静止画がカラー表示できるようになり、アピール力が高まりました。



ガラス棟 | 屋根鉄骨改修工事

ガラス棟屋根鉄骨部分を再塗装し竣工当時の状態に戻すリフレッシュ工事を行っています。工事を安全に実施するため、鉄骨部分の下には全面養生シートが張られ、ガラス棟内部からは天井の美しい梁が見えない状態となっていますが、完了予定の2016年9月には、竣工当時の状態にリフレッシュされた美しい姿を再び現わします。

ホールB7 | 吊物機構 ホールB5 | 制御システムの更新

経年劣化対策に加え、安全性の更なる向上、操作性・作業性の向上などを図るため、吊物機構制御システムの更新を行いました。



ホールB7 | ロビー改修

壁の塗装塗替え、PC柱の補修、皇居側大型凹窓フレーム塗装塗替え等、ロビー全体をリフレッシュさせました。



ホールB5 | 空調機の更新

経年劣化対策に加え、省エネルギーのため、ホールB5の空調機を更新しました。これにより、消費電力の削減が期待できます。



ホールB5 | ロビー改修

苔色の曲面壁が印象的なホールB5ロビー。この曲面壁をはじめ、皇居側のアルミルーバーやパネルの塗装塗替え、天井のパウダーコーティング塗装等、ロビー全体をリフレッシュさせました。



ホールB5 | 照明のLED化

ホールB5の天井及び光壁照明器具をLEDに更新しました。これにより、柔らかな照明の風合いはそのままに、消費電気を大幅に削減することができます。



D棟 | ロビー（3～7階）の改修

ホールD7・D5などのあるD棟の3～7階のロビーの改修を行いました。床タイルカーペット張替え、天井・壁・扉の塗装塗替えなどにより、ロビー周りをリフレッシュさせました。



ホールD7 | 引き出し式収納席の改修

離席時の衝撃音軽減のための緩衝起立システムの採用、椅子背面にパンフレット等を入れるポケットの追加などお客様の利便性・快適性を高める工夫を施しました。また、足元灯をLEDランプに変更するなど省エネルギーにも配慮しました。



B棟・D棟 | 外壁等建築改修工事

外壁アルミパネルや窓サッシなどのコーティングやシール打ち替え、PC（プレキャストコンクリート）のヒビ・欠損の改修やシール打替えなど、建物外周部の改修を行い、竣工当時の状態にリフレッシュしました。これには、建築構造物の維持延命化の効果もあります。



B棟・D棟 | 光壁・光床の改修

東京国際フォーラムの建築美を浮かび上がらせる“光壁”と“光床”。2015年度はB棟とD棟の光壁・光床を改修。照明機器内側の白塗装を塗替え、照明のLED化を行いました。光壁・光床は竣工当時の美しさを取り戻し、省エネルギー化も図られました。



「都心型MICE※」の取り組み

東京国際フォーラムは日本有数のコンベンション&アートセンターとして、日本・東京のMICE誘致と開催の中核的役割を担っています。

東京国際フォーラムは、日本のビジネスの中心地であり近年は文化・観光エリアとしての魅力も高めている東京・丸の内に位置し、銀座・有楽町の商業地域に隣接しています。北側には日本の鉄道交通の中核ターミナル東京駅が至近距離にあり、南側はJRと東京メトロの有楽町駅と直結し、交通アクセスの利便性が高く、皇居外苑、ショッピングエリアとして世界的に名高い銀座、日比谷の劇場街なども徒歩圏内にあり、まさに東京の魅力が凝縮された最高の立地です。また、国際的なラグジュアリーホテルからリー

ズナブルなビジネスホテルまで東京国際フォーラムの周辺には数多くの宿泊施設があります。

この宿泊・商業施設・観光・ビジネスなど様々な施設・機能が集積されたエリア全体の機能と、東京国際フォーラムのコンベンション施設としての高い機能を連携させることにより、エリア全体で高付加価値のMICE環境を提供する「都心型MICE」の中核として、当社は、東京都や地域と連携しながら、国際規模のMICE誘致・開催に取り組んでいます。

※MICE: Meeting (会議)、Incentive travel (報奨・研修旅行)、Convention (総会、学術会議、大会等)、Exhibition (展示会、見本市)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

2015年度は、次の大型国際会議が開催されました。

■ 第9回UIC世界高速鉄道会議 9th UIC World Congress on High Speed Rail

1992年から数年に一度開催され、高速鉄道に特化した国際会議・展示会としては世界最大規模を誇り、政府関係者、鉄道事業者、鉄道インフラ管理会社、建築業界、金融機関、研究者など世界中の高速鉄道関係者が一同に会する会議。日本初開催だった東京大会には、40カ国から約1,200人が参加されました。オープニングセレモニーには内閣総理大臣もご出席され、ご挨拶を述べられました。

海外からのお客様へ歓迎の気持ちを表すため、会期中、当館案内所スタッフは「浴衣」を着用し、ご案内業務にあたりました。七夕にちなんだ会場装飾にもマッチし、海外のお客様からだけでなく国内のお客様からも好評をいただきました。

会 期：2015年7月7日(火)～10日(金)
会 場：ホールB7・B5・C・D5・E、ロビー
ギャラリー、G棟会議室
参加者数：約1,200人(40カ国)



エキシビション会場内



エキシビション／テープカット



パラレルセッション



ロビーギャラリーの七夕飾り



浴衣姿の当館案内スタッフ

トピックス

館内巡回案内にセグウェイ導入 (2015年5月)

東京国際フォーラムでは、館内2箇所の案内所での案内サービスに加え、館内をコンシェルジュが巡回して、ご来館のお客様にご案内サービスを行っております。この巡回案内にセグウェイを導入しました。徒歩による巡回に比べ、巡回中のコンシェルジュが見つけやすく、お客様がお声をかけやすくなるなど、お客様とのコミュニケーションがより活発化されるなどの効果が見られます。

※セグウェイとは・・・電動立ち乗り二輪車。アクセルやブレーキ操作なしに重心移動によってその動きを制御。小回りの効いた移動が可能。



双方向型デジタルサイネージを導入 (2015年6月)

ガラス棟1階有楽町駅側、地下コンコース地下鉄有楽町線側及びJR東京駅側など館内7箇所にデジタルサイネージ(双方向型情報検索端末)を設置しました。このデジタルサイネージは、見やすい50インチディスプレイの赤外線式タッチパネルで、お客様が簡単に操作し、情報を検索することができます。館内施設情報はもちろん、館内の経路案内やパリアフリーマップ、周辺地域の情報など様々なコンテンツをご用意しています。また、外国人のお客様のご利用を想定し、言語を選択できるようになっており、日本語のほか、英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字)の4言語で対応可能です。



丸の内パートナーシップ総合警備訓練 (2015年6月)

弊社も参画する「丸の内パートナーシップ」と警視庁丸の内警察署が合同で総合警備訓練を行ない、丸の内パートナーシップ参画の民間企業・団体、丸の内警察署、警視庁機動隊等から約200人が参加しました。会場となった東京国際フォーラム地上広場では、爆発物に関する講演、警視庁と東京国際フォーラム警備隊による合同爆発物処理訓練、警備犬訓練デモンストレーション、震災救出救助訓練等が行われ、爆発物探知犬や対爆発資材の活用、高所からの救出訓練など本番さながらの訓練が展開されました。



丸の内消防署からの感謝状 (2015年9月)

東京国際フォーラムは、日頃から事故・災害等の発生の予防に努めるとともに、年間を通して従業員対象の各種訓練を実施しております。こういった取り組みから、救急行政への協力や応急救護技術の向上を図るための救命講習の受講を計画的かつ積極的に進めるなど、救急業務の推進に寄与していると認められ、東京消防庁丸の内消防署長より「感謝状」をいただきました。



「優良防火対象物」認定の更新 (2015年12月)

東京国際フォーラムは、東京都火災予防条例による「優良防火対象物認定制度」が導入された2006年から連続して「優良防火対象物」の認定を受けています。「優良防火対象物」とは、防火対象物の関係者が行った防火安全対策の向上に係る積極的な取り組み等について消防機関が審査及び検査を行い、防火安全性の高い優良な防火対象物として認定された建物のことです。認定期間は3年と定められていて、当館が前回の認定を受けてから3年が経過したため、当社で再認定の申請を行い、消防機関から審査及び検査を受けたところ、東京国際フォーラムの防火安全性の高さが認められ「優良防火対象物」の認定が更新されました。



「メモリアルギャラリー in NIPPON

～ 振り返る東京・札幌・長野のオリンピック～」の開催 (2016年2月・3月)

1964年の東京オリンピックを中心に1972年の札幌オリンピック、1998年の長野オリンピックまで、日本で開催された国際的スポーツの祭典の歴史を、貴重な展示品とともに紹介する「メモリアルギャラリー in NIPPON ～ 振り返る東京・札幌・長野のオリンピック～」が、2月4日から3月23日まで、東京国際フォーラムB棟1階フォーラム・アート・ショップ内ギャラリーで開催されました。

会場内は、聖火トーチ・ホルダーや聖火台模型、金／銀／銅メダル(レプリカ)、1964年東京オリンピック競技プログラムを始めとする貴重な品々が展示され、開催当時の熱気が伝わってくるようでした。



東京都・千代田区

合同帰宅困難者対策訓練 (2016年2月8日)

本訓練は、首都直下型地震により、千代田区内の駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したとの想定で、駅、商業施設、公共施設などの管理者が連携し、混乱の防止や安全の確保に努めることを目的として行われたものです。

東京国際フォーラムは都立一時滞在施設として、一時滞在施設の開設、帰宅困難者の受け入れ、帰宅困難者への備蓄品の配布等の訓練を行いました。訓練には、約100名の帰宅困難者役の方々が参加され、本番さながらに行われました。また、特設公衆電話設置訓練、安否情報ポータルサイトへの情報アップロード訓練もあわせて実施しました。



「&TOKYO」を東京国際フォーラム

地下コンコースに大きく展示 (2016年2月・3月)

東京都が2020年東京オリンピック・パラリンピック開催とその先を見据えた旅行地としての東京を強く印象付ける「東京ブランド」の確立に向けた取り組みの一環として行われているロゴマーク「&TOKYO」の活用キャンペーン。

この「&TOKYO」のシートが展示ホールのコンコース側ガラス面と中央ブリッジガラス面に張り出されました。「&TOKYO」と共に張り出されたのは東京の魅力を伝える大きな写真シート。これらが、地下コンコースや中央ブリッジに広がる様は実に壮観でした。シートを背景に写真撮影をする外国人旅行者などの姿が多く見られました。



財務諸表

貸借対照表

科 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	5,237,978
現金及び預金	3,952,235
売掛金	355,137
有価証券	765,253
商品	142
貯蔵品	23,827
前払費用	81,570
繰延税金資産	991
未収入金	10,072
未収還付法人税等	28,433
未収消費税等	20,392
その他	262
貸倒引当金	△ 340
固定資産	2,063,113
有形固定資産	839,457
建物	579,126
構築物	23,011
車両運搬具	192
器具及び備品	126,645
リース資産	110,481
無形固定資産	129,567
ソフトウェア	127,661
電話加入権	1,905
投資その他の資産	1,094,088
投資有価証券	719,179
長期預金	300,000
固定化営業債権	438
繰延税金資産	74,838
その他	70
貸倒引当金	△ 438
資産合計	7,301,092

損益計算書

科 目	金 額
売上高	7,031,201
売上原価	5,601,264
売上総利益	1,429,936
販売費及び一般管理費	1,342,537
営業利益	87,399
営業外収益	
受取利息	6,759
貸倒引当金戻入益	125
雑収	23,523
営業外費用	
支払利息	1,183
雑損	36
経常利益	116,588
特別利益	
固定資産受贈益	5,932
特別損失	
固定資産除却損	15,749
税引前当期純利益	106,770
法人税、住民税及び事業税	34,004
法人税等調整額	18,733
当期純利益	54,032

科 目	金 額
(負債の部)	(単位:千円)
流動負債	2,349,065
買掛金	1,138,495
リース債務	32,329
未払金	248,020
未払費用	4,041
未払法人税等	8,358
未払事業所税	56,526
前受金	824,622
預り金	8,953
賞与引当金	27,717
固定負債	867,129
リース債務	87,740
退職給付引当金	254,267
長期預り保証金	525,121
負債合計	3,216,194
(純資産の部)	
株主資本	4,084,897
資本金	490,000
利益剰余金	3,594,897
利益準備金	20,580
その他利益剰余金	3,574,317
繰越利益剰余金	3,574,317
純資産合計	4,084,897
負債及び純資産合計	7,301,092

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2015年4月1日から2016年3月31日まで

金 額	(単位:千円)
7,031,201	
5,601,264	
1,429,936	
1,342,537	
87,399	
6,759	
125	
23,523	30,408
1,183	
36	1,219
116,588	
5,932	
15,749	
106,770	
34,004	
18,733	52,738
54,032	

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

東京国際フォーラムの沿革

基本構想から開館まで

1980 (昭和55) 年	12月 3日	「マイタウン構想懇談会コミュニティ部会」でシティ・ホールの建設を提言
1985 (昭和60) 年	8月22日	「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」を発表 (新都庁舎を新宿地区に、東京国際フォーラムを丸の内)
1986 (昭和61) 年	1月24日	「東京都東京国際フォーラム建設等審議会発足」(1987年12月24日最終答申)
1989 (平成 元) 年	11月 2日	国際公開設計競技の審査の結果、ラファエル・ヴィニオリ氏 (米) が最優秀賞
1992 (平成 4) 年	10月 9日	建築工事着工
1994 (平成 6) 年	9月 1日	財団法人東京国際交流財団 設立
	12月 1日	東京国際フォーラム施設利用申込の受付開始
1995 (平成 7) 年	4月 1日	(財) 東京国際交流財団は、(財) 東京都文化振興会より国際交流事業の事務移管を受ける。
1996 (平成 8) 年	5月31日	東京国際フォーラム建物竣工
	7月 1日	(財) 東京国際交流財団、東京都から東京国際フォーラムの貸付を受ける。
1997 (平成 9) 年	1月10日	東京国際フォーラム開館

財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへ

1997 (平成 9) 年	1月10日～3月29日	東京国際フォーラム開館記念“東京ときめきフェスタ”の実施
	3月 1日	ホール・会議室等一般利用開始
2000 (平成12) 年	12月24日～1月 1日	フォーラム・ミレナリオクラブ実施 (以降2005年末まで毎年実施)
2001 (平成13) 年	12月21日	東京国際フォーラム 株式会社化の発表
2002 (平成14) 年	8月	東京国際フォーラム開館5周年記念事業の実施 (“トーキョーアートジャングル” 他)
2003 (平成15) 年	4月 4日	株式会社東京国際フォーラムの設立 (代表取締役三宅広人)
	5月22日	代表取締役社長に鳥海 巖が就任
	7月 1日	財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへの事業譲渡

株式会社東京国際フォーラム

2003 (平成15) 年	7月 1日	株式会社東京国際フォーラム本格稼動、館内サインの一新・ホール等の施設名称の一部変更
	7月	開館時間の延長 (7:00～23:30)、新施設利用料金体系の導入
	10月	地上広場に「ネオ屋台村」登場 (以降平日の毎日)
	11月 1日	地上広場に「大江戸骨董市」登場 (～05年9月:毎月1回、05年10月～:毎月2回)
2004 (平成16) 年	6月	「相田みつを美術館」オープン
	7月	地上広場に照明灯 (ライティング・ポール/光柱) 設置
2005 (平成17) 年	3月	ネオ屋台村スーパーナイト第1回開催 (以降継続開催)
	4月24日～5月 1日	総合案内所リニューアル、ロビーギャラリー照明灯 (ライティング・ポール/光柱) 設置、Aブロック地下1階女子トイレ増設
2006 (平成18) 年	4月	第1回ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭の実施 (以降毎年ゴールデンウィークに実施)
	12月 8日～1月15日	ホールA女子トイレの増設、ホールE用エレベーター設置、東京駅連絡口エスカレーター設置、地上広場完全禁煙化
2007 (平成19) 年	通年	年末イベント「HARMONIA」の実施 (2007・2008年末にも実施)
	6月 1日	開館10周年記念事業の実施 (8月「丸の内KIDSフェスタ」等) ※丸の内KIDSフェスタは以降毎年8月中旬に実施
2008 (平成20) 年	3月	会議室G701 (4月末竣工) の一般貸出開始
	8月	ホールEロビー内喫煙ブース設置
2009 (平成21) 年	4月～	東京国際フォーラム環境方針の決定
	12月	中期修繕10カ年計画に基づく大規模改修工事の初年度
	12月	年末イベント「ストラスプールのマルシェ・ド・ノエル」の実施 (2010年にも実施)
2010 (平成22) 年	4月～	ガラス棟7階屋上および同テラスの緑化実施
2011 (平成23) 年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第2期 (ホールA部分リニューアル、ガラス棟会議室空調更新 等)
	3月11日	東日本大震災発生 東京国際フォーラムは帰宅困難者の受入を実施
	3月31日	ホールD1リニューアルオープン (固定座席のシアター形式から平土間形式に改修)
	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第3期 (地上広場植栽植替え、ホールD7・D5・E 部分リニューアル、外壁 (部分) ・木リブ壁・ブリッジリフレッシュ、喫煙ブース (ホールA・C) 新設、利用受付・打合せコーナーのリニューアル等)
2012 (平成24) 年	通年	開館15周年記念事業の実施 (5月“マイケル・サンデル特別講義”、8月“丸の内キッズジャンボリー”等)
	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第4期 (ホールC・B7・B5部分リニューアル、地上広場石床補修 等)
	5月	授乳室の開設
2013 (平成25) 年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第5期
		(中央厨房全面改修、ホールA部分リニューアル、地上広場植栽植替え、外壁部分リフレッシュ 等)
2014 (平成26) 年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第6期
		(京葉線側階段改修、ガラス棟屋根鉄骨改修準備、ガラス棟喫煙所設置 等)
	12月	年末イベント「TOKYO stylish NIGHT “REFLECTION 2014/2015”」の実施
2015 (平成27) 年	4月	館内デジタルサイネージの導入
	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第7期
		(館内サイン改修、ホールE改修、大型催事情報表示板更新 等)

施設概要

(2016年7月1日現在)

名称	東京国際フォーラム (英文名称:Tokyo International Forum)	
所在地	東京都千代田区丸の内三丁目5番1号	
敷地面積	約27,000㎡	
延床面積	約145,000㎡	
開館年月日	1997年1月10日	
所有者	東京都	
運営管理団体	株式会社東京国際フォーラム	
設計者	ラファエル・ヴィニオリ (Rafael Viñoly) <国際設計競技当選者・米国>	
ホール等	ホールA	劇場形式／座席数:5,012席 (二層式:1階席3,025、2階席1,987)
	ホールB7	平土間形式／床面積:1,400㎡ (二分割可:670㎡／670㎡)
	ホールB5	平土間形式／床面積:600㎡ (二分割可:280㎡／300㎡)
	ホールC	劇場形式／座席数:1,502席 (三層式:1階席739、2階席363、3階席400)
	ホールD7	平土間形式／床面積:340㎡ (引き出し式収納席100席／180席)
	ホールD5	平土間形式／床面積:285㎡
	ホールD1	平土間形式／床面積:137㎡
	ホールE	床面積:5,000㎡ (二分割可:3,000㎡／2,000㎡)
	会議室	Dブロック会議室(4・5階):3室、ガラス棟会議室(4～7階):31室(4～6階各階10室、7階1室)
	その他	ロビーギャラリー:560㎡ ラウンジ:224㎡
ガラス棟	規模	面積:約4,000㎡ (長さ:約207m 最大幅:約32m 高さ:約60m)
	ガラス枚数	約3,600枚 (西側:約1,800枚 屋根:約1,000枚 東側:約800枚)
	ガラス大きさ	壁面:2.6m×2.5m 屋根:1.7m×1.9m
地上広場	規模	面積:約9,700㎡
	植栽等	植栽:樺42本、桂15本 ベンチ:2名掛48箇所
	その他	貸出スペース:A／約880㎡ B／約670㎡ C／約380㎡ D／約160㎡
駐車場	利用時間等	地下3階／7:00～23:30 (年中無休)
	収容台数	420台 (うち身障者専用7台)
	利用料金	30分200円
店舗等	カフェ・レストラン	12店舗 (地下1階:6店舗 1階:4店舗 2階:1店舗 7階:1店舗)
	ショップ	2店舗 (アートショップ、コンビニエンスストア)
	サービス等	3店舗 (旅行代理店、チケットセンター、リラクゼーション)、ウエディング「ミラキュルーズ」
	美術館	「相田みつを美術館」／地下1階
アートワーク	「赤と黒」(エルズワース・ケリー) など134点 (作者50名)	



ホールA



ホールB5



ホールC



ホールE